

石峰&抱月のふるさと『波佐まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 253 2024.3.15

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会

波佐文化協会

能海寛研究会

ほたる湯館G・ゴルフ場

能海寛研究会機関誌『石峰』第29号発行

【会員研究】「能海の「最期」に関わるランス人宣教師とプラントハンター
G.フォーレスト」

岡崎 秀紀

【会員研究】「東チベット探検史序説とキリスト教」

中村 保

【会員研究】「日中提携の気運と能海寛」

篠原 由華

【会員研究】「清末民初日本偵探山口升の調査資料整理及初步研究」

何 大勇

【会員研究】「IRFA(フランス・アジア研究所)、MEP(バリ外国宣教会)・
サレブ山チベット寺院」

岡崎 秀紀

【会員研究】「チベットセミナー及び中村元記念館能海講座の10年を振り返って」

岡崎 秀紀

【寄稿】能海寛が学んだ「石見学場」

芦谷 英夫

【遺稿】「入蔵途次見聞雑記」

能海 寛

【遺稿】「能海寛の悲運」

山口 瑞鳳

【遺稿】「経緯同盟会々員名簿」

能海 寛

◆ 能海寛のチベット探検将来品

◆ 年次大会／定例学習会報告

◆ 風の馬(ルンタ)のスケッチ(M32.5)

※ 発行日：令和6年3月15日・能海寛研究会刊

能海寛の将来品の木版摺「風の馬(ルンタ)」 3点

表紙写真の木版摺「風の馬(ルンタ)」は、能海寛が明治32年にチベット巡礼探検中に入手した将来品である。ルンタは、中心部に運気を運んでくる馬が配置され、周辺に虎、獅子、龍などが描かれている。青・白・赤・緑・黄の五色の旗をロープに飾り、それぞれに経文や風の馬が描かれている。香を焚き、空にたなびくことで、運気を運んでくる「ルンタ(風の馬)」を迎え入れるという信仰である。旗の色は仏教を表す五色で、空・雲・火・水・土を表す。左側の一番大きなルンタは、タテ55.0cm×ヨコ25.0cmである。



能海寛の記念樹ハクモクレン

明治31年春に結婚記念樹として植えたハクモクレンが今年も、4月上旬に開花します。樹齢126年で、浜田市指定天然記念物です。ハクモクレンの見物に併せて、能海寛の詠んだ歌碑10基の「歌碑巡りウォーク」や波佐まるごとミュージアム内の6箇所を巡るスタンプラリーも楽しんでください。「スタンプラリー帳」は、浜田市金城民俗資料館で無料交付しております。

